

事業所職員向け 放課後等デイサービス自己評価表

公表：令和6年 1月 30日

事業所名

障がい児通所支援事業所 おくえつザウルス

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | 工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標 |
|-----------------|----|---|----|---------------|-----|---|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか | ○ | | | ホールや複数の和室をパーティション等も使いながら人数や活動に応じて対応しています。今後長期休暇時など利用人数が増える際は学校の空き教室などの利用も検討しています。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であるか | ○ | | | 国が定めた基準よりも多く人員を配置し、その中で保育士や教員免許を持つものが専門的な視点を持ちながら発達支援を行っております。 |
| | 3 | 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか | ○ | | | |
| 業務 改善 | 4 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか | ○ | | | 毎日職員間で前日の様子を振り返り、業務改善につなげています。月1回は事業内会議も行い事業所としての課題の整理や取り組みを職員で共有しながら進めております。 |
| | 5 | 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか | ○ | | | 毎年、事業所評価アンケートを行いその中で出たご意見を日々の活動や次年度の事業計画につなげています。個別の面談時にもご意向等確認しながら業務改善につなげております。 |
| | 6 | この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか | ○ | | | 法人のHPで2月に公開予定。事業所入り口にも掲示いたします。 |
| | 7 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか | | ○ | | 外部の方の助言等いただきながら、業務改善や支援の組み立てにつなげております。 |
| | 8 | 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか | ○ | | | 事業所内外の研修に参加する機会を確保し、職員の資質や専門性の向上に努めております。Speciallearning等のツールも用いながら学びやすい環境も整えております。 |
| 適切 な 支 | 9 | アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | 日々の様子やモニタリング、個別での面談を通してニーズや課題を整理し、サービス計画の作成を行っています。 |
| | 10 | 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか | ○ | | | 標準化されたアセスメントの結果や情報をもとに支援を組み立て、必要に応じて事業所で使用している理解や行動に関するアセスメントツールを使い行動の状況把握をしております。 |
| | 11 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか | ○ | | | 月1回活動会議を行いチームで目的や内容を踏まえ立案、実施しています。 |
| | 12 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか | ○ | | | ガイドラインにも沿って、創作や余暇、自立支援を行うほか、PCやeスポーツ、音楽やSSTなど様々な活動を組み合わせて提供しています。 |
| | 13 | 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか | ○ | | | 平日は余暇や運動、レクリエーションを中心に取り組み、長期休暇等は様々な活動を通して社会性やライフスキル、自立や就労に向けた取り組みを個別で設定して支援しています。 |

| | | | | | | |
|--|--|--|---|---|---|--|
| 援 の 提 供 | 14 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか | ○ | | | |
| | 15 | 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか | ○ | | | 支援前に必ず職員間、及びパートの方と前日の情報共有、当日の内容等について話をする時間を設けています。 |
| | 16 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか | | ○ | | 勤務時間が異なることもあり、支援終了後に必ず打ち合わせを実施できておりませんが、ケース等あった際はいる職員で話し合いや振り返りを行い、次の日の朝にスムーズに共有できるようにしています。 |
| | 17 | 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか | ○ | | | 日々の記録のほか、ケースに応じて、別途記録用紙を作成し検証や改善につなげています。 |
| | 18 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか | ○ | | | 定期的にモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を職員で確認しながら取り組んでいます。 |
| | 19 | ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか | ○ | | | 自立支援や創作、余暇の提供などを組み合わせて支援や活動を行っています。 |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 20 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか | ○ | | | 児発管が参画しています。場合によっては児発管と担当職員（または看護師等）の複数名で参加することもあります。 |
| | 21 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか | ○ | | | 学校と併設しており、行事等の予定や急な変更時もスムーズに情報共有しながら、連絡調整や対応にあたっています。 |
| | 22 | 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか | ○ | | | 通院同行等も行い主治医にマニュアルや緊急時の対応等も確認していただきながら連絡体制や受け入れ体制を整えています。 |
| | 23 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか | ○ | | | 事前に情報を聞いたり相談員等を通して情報を得ながら理解に努めています。 |
| | 24 | 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか | ○ | | | 移行先への情報提供として、放デイでの支援の様子や具体的な支援ツールの提示など行っています。 |
| | 25 | 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか | ○ | | | 見学に行きお話を伺ったり、連絡ツールで県内のセンター等と情報共有をしたり、助言等いただきながら、業務や支援につなげています。 |
| | 26 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか | | ○ | | 長期休暇時は児童館と併用しているお子さんの利用もあります。今後保護者の方のニーズ等も確認しながら、近くの児童館との交流やつながりも検討していきます。 |
| | 27 | （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか | ○ | | | |
| | 28 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか | ○ | | | 日々のお迎え時に口頭でその日の様子や最近気になる事等を伝えたり、必要に応じてノート等活用しながら共通理解を図っています。 |
| 29 | 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか | ○ | | | 普段の相談や面談の中でお子さんの対応やかかわり方について一緒に考えています。 来年度保護者向けにペアトレ等の内容をお伝えする機会を企画しております。 | |

| | | | | | | |
|------------|----|---|---|--|---|---|
| 保護者への説明責任等 | 30 | 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか | ○ | | | 契約時にお話させていただいています。来年度は支援の内容も含めより丁寧に説明と情報提供を行っていきます。 |
| | 31 | 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか | ○ | | | 面談時や普段の中で相談等を受けた場合、一緒に考え対応等お伝えしたり、事業所で取り組んでうまくいっている情報をお伝えしています。 |
| | 32 | 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか | | | ○ | コロナ禍以前は事業所として年2回ほど保護者座談会を実施していましたが、現在実施できておりません。再度保護者の皆様のニーズを確認しながら必要に応じて企画、実施していければと考えております。 |
| | 33 | 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか | ○ | | | 意見箱の設置と、苦情受付窓口の設置をしております。苦情があった場合真摯に受け止め、迅速かつ適切に対応できるよう心掛けております。 |
| | 34 | 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか | ○ | | | 日ごろの様子や活動内容、行事予定等は月1回会報として写真付きでお配りさせていただいております。 |
| | 35 | 個人情報に十分注意しているか | ○ | | | |
| | 36 | 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか | ○ | | | |
| | 37 | 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか | | | ○ | 働いている方で地域に住んでいる方も多いので、その方が育てているお花を利用児と一緒に取りに伺ったりしております。今後さらに広げていけるよう行事等の検討をしていきます。 |
| 非常時等の対応 | 38 | 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか | ○ | | | 各種マニュアルを策定しており、ザウルス入り口に冊子として置いてあります。来年度は4月にデータもしくは紙媒体で保護者の皆様への配布も検討しております。 |
| | 39 | 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか | ○ | | | 定期的に消防署にも協力していただきながら、避難訓練の実施等行っております。 |
| | 40 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか | ○ | | | 虐待に関するチェックリストの実施や研修を実施したり、動画視聴等でも虐待に関する項目を見る時間も作っております。 |
| | 41 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか | | | ○ | 現在該当する利用児はおりません。 |
| | 42 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか | ○ | | | |
| | 43 | ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか | ○ | | | 毎月ヒヤリハットをあげてファイルにとじ共有、対策を行っております。 |